

会派視察・研修報告書

会派名 オールたじみ

代表者名 石田浩司

1 日にち	令和6年3月12日(火)
2 視察先 研修名、主催者及び会場	第30回建築・建材展2024 東京国際展示場「東京ビックサイト」東ホール
3 参加者	石田浩司、奥村孝宏、成田康弘、黒川昭治
4 調査・研修の内容	多治見市美濃焼タイル振興協議会の 建築・建材展出展状況について
5 主な内容	<ul style="list-style-type: none">・触れて、つくって、美濃焼タイルの魅力を伝える～セラミックタイル美濃2024・各出展者の出展ブース 内外装タイル、床タイル、モザイクタイル、それに伴うパンフレットやカタログの出展、展示・紹介
6 所感、提言事項、 課題等	<p>【議員氏名】石田浩司</p> <p>建築・建材展2024のオープニングに参加をしました。 昨年は議長として参加をしましたが、伝統ある美濃焼タイルの新商品の説明を受ける度にタイルの可能性を感じます。 内装用タイルを圧縮して作る「焼かないタイル」には驚きました。内装で貼られてからも徐々に硬くなり、CO2を吸収する効果もあるそうです。</p> <p>各メーカーが様々な視点でタイル製造販売に取り組み、売り込む展示会が美濃焼タイル振興に寄与すると感じました。</p>

6 所感、提言事項、
課題等

【議員氏名】 奥村孝宏

初めて「建築・建材展」の開会式に参加した。地元多治見市の企業に加え陶磁器意匠研究所など多くの関係者が出席のもと、高木市長の来賓あいさつなどで盛大に行われた。

今回の出展では、『株式会社TChic』の大判タイルの壁材が目を引いた。その他、『杉浦製陶株式会社』の焼かないタイルには珍しい美濃焼を見ることができたと感じた。

今回の出展者の話によると、なかなか目に見える形での需要増大がないとのことで、この建築・建材展を機に、少しでも需要を増やして欲しいと思った。

また、多治見市としては建替え予定の市役所新本庁舎をはじめ、市有施設には、積極的に、美濃焼、セラミックタイルを取り入れるべきだと思った。

最後に、美濃焼ブース以外の展示を見ると、他の県では県単位のブースもあることから、今後は岐阜県とも協力し、より良い効果が得られるような「建築・建材展」になることを期待する。

【議員氏名】 成田康弘

3月12日（火）、東京ビッグサイトで開催された「建築・建材展2024」セラミックタイルMINOの開会式に、初めて出席させていただきました。

高木市長の挨拶から始まり、古屋衆議院議員、柴田市議会議長がお祝いの言葉を述べられました。

セラミックタイルを世界に！多くの方にPRする絶好の機会です。

15社の出展があり、「おしゃれな大判タイル」や「暮らしに彩りを。未来に安心を」など、色々なテーマで紹介されています。

私が一番目を奪われたのが、鈴製陶（株）さんの、現在開発中の機能性タイル「CO2を吸収する焼かない新素材タイル」Terrawell（テラウェル）で、脱酸素に貢献するタイルであるとのことでした。

このように、多治見市、特に笠原のタイルが、需要に結びつき、業界の活気につながることを期待しています。

その他会場には、建設資材や住宅関係のブースが多くあり、大変興味深く説明を受けました。

<p>6 所感、提言事項、課題等</p>	<p>【議員氏名】 黒川昭治 初めて視察しました。 地元タイルの「MINO」ゾーンでは、あらためてタイルの魅力を感じました。 自宅外壁も笠原のタイルを使用しているにもかかわらず、普段なかなか触れることがなかったタイルに触れた気がします。 実際に、見て触れて知ることができ、有意義な視察になりました。</p> <p>各企業の展示だけでなく、名古屋芸術大学のタイル壁画は、観覧者の目を引く素晴らしいものでした。 一般の人が参加できる型で、自身がデザインした作品が「花」として壁画の一部となることで、よりタイルの良さを実感してもらえるものではないかと思います。</p> <p>他には、実家が建具店であることから木材に興味があり、「木造・木質建築」ゾーンを中心に見学させていただきました。 建築業界は厳しく、規模が縮小傾向にあるという声を聞きました。</p> <p>面白い商品や知らなかったメーカー、技術的な話を詳しく聞ける貴重な機会であり、今後も続いて欲しいと思います。</p> <p>以下余白</p>
<p>7 写真等 ※視察の場合は必須、研修の場合は任意</p>	

※ 視察先、研修先ごとに1枚作成すること。

※ 「6 所感、提言事項、課題等」は、参加者全員分を記載すること。